

平成27年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書

課題番号	26000012	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	健康長寿のための普遍的代謝調節経路の包括的・発展的研究		
研究代表者名 (所属・職)	門脇 孝 (東京大学 医学部附属病院 教授)		

評価コメント

高血圧、高脂血症、糖尿病の3大動脈硬化の危険因子の中で、糖尿病は未だコントロールが困難な疾患である。研究者のグループは1.健康長寿をもたらすカロリー制限の科学と方法、2.健康長寿を制御する普遍的シグナルの同定、3.代謝制御経路を基盤にした健康長寿実現に向けた科学と方法の確立を掲げており、具体的にはアディポネクチン受容体活性化低分子化合物の開発の研究を通して糖尿病を抑制し、健康長寿社会の実現を目指すものである。

本研究グループの業績は世界のトップレベルを走っており、中でも、研究計画調書の提出時点から本現地調査までにアディポネクチン受容体の立体構造を明らかにし、その成果を「Nature誌」に発表したことから、研究は順調に推移していると言える。今後はアディポネクチン受容体活性化低分子化合物の研究を更に進め、ヒトに応用できる創薬へと繋げていくことを期待するとともに、食事制限に関してもヒトや文化を考慮した研究展開を期待する。購入した備品の使用については特段の問題はなかった。